



○実習報告会

2年生が一段と成長して帰ってきました。先日報告会がありましたので私がメモした中からできるだけたくさん紹介したいと思います。実際の実習中には園の中に一人だけまたは二人しか仲間がいません。心細い中一生懸命がんばってきたことと思います。報告会で友人の取組を聴くと自分との共通点・できなかった経験まで知ることができます。また、工夫・成果・反省・将来の展望などが分かり、自分自身のさらなる資質向上に役立ちますね。次に紹介するものは発表の中身を省略し、表現を少々変えているところもあります。ご了承ください。

運動会の準備などが始まっていてさまざまなトラブルも発生したが、たくさんの対応方法を学ぶことができた。苦手なピアノの課題に挑戦してやり遂げたので達成感があった。事前準備の大切さ予想外の事態への対応などを学んだ。絵本で興味をもたせることができたり、作った動物のお面で遊ぶ子どもの姿が嬉しかった。ほんの2~3か月での子どもの成長に驚いた。子どもとともに歩む仕事の楽しさを改めて味わうことができた。指導者も健康と体力が大切であると実感した。子どもが考える時間の設定、「見守る」ことのより深い意味などのことを学んだ。指導者の言葉遣いを子どもは真似をしてしまうので、これからは自分の言葉遣いにも気をつけて過ごしていきたい。仲良くなかった子ども同士の関係に変化があった。指導・支援・指摘のありがたさを感じた。子どもの個人差を把握しつつ、どう支援していくかについて考えることができた。他者をほめて気づかせるなどの手立てなどが学べた。運動会の練習では集団の誘導の仕方などが学べた。初めて外で活動する子どもの不安・混乱に対して安心感を与える方法を教えてもらった。嫌いなものを食べるができるようになる方法を学んだ。アレルギー対応では食物そのものだけでなく、容器にも気を配るというということが分かった。泣いてばかりいた子がしっかりしており、成長を感じた。先生方とのコミュニケーションも大切で、終わりには少しできるようになった。障害のある子への支援について少し学ぶことができた。一つのことを造り上げるにしても、準備段階から大切であると感じた。静かにさせることの難しさを感じた。今回は自分から進んで行動することができた。



終了後、私が感想を述べる機会がありましたので、次のようなことを伝えました。

私が離島の学校に勤めていた時のことです。子どもたちの数が少ない規模の学校なので職員室は小中一緒でした。ある日小学校1年生の教室から、担任の先生のピアノ伴奏と子どもたちの元気な歌声が聞こえてきました。担任の先生は若くピアノ演奏がまだまだ不安な部分もありました。あるとき間違えてしまったのですが、なんと子どもたちは先生が間違えたとおりに歌ったのです。子どもたちの学び取る力と素直さ、先生という仕事の楽しさと責任というようなものを感じました。でも子どもたちとともに成長できる“先生”という仕事は大きなやりがいがあります。頑張っていきましょう。